

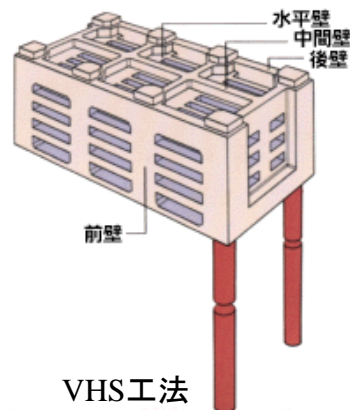
新技術の採用によるコスト改善

工事名：海岸保全施設整備事業（下新川海岸生地新型離岸堤工事）

概要：下新川海岸生地地先では、平成20年2月の高波により浸水被害が発生した。その対策として、高波を消波させる離岸堤を設置する必要がある。この海岸の地形は急峻であることから、有脚式離岸堤が有効であるが、新技術の採用によりコスト改善を図る。

効果：① 波力の分力による耐波浪安定性の向上（鋼管杭に発生する応力の低減）。
② 波エネルギーの消散による消波性能の向上（上部構造物の小型化）。
■ 離岸堤（1基分）工事費を、**809百万円**から**712百万円**に改善。
（改善額 **97百万円**、改善率 **約12%**）

イメージ図（従来技術）



イメージ図（新技術）

